

令和6年度 事業報告

概 要

我が国が超高齢社会に向かって急速に歩みを進めている中で、元気な高齢者が地域社会の課題解決の担い手となって活躍するシルバー事業は、ますますその役割を果たすことが求められております。

令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大という事態に見舞われ、雇用情勢をはじめ社会経済活動は大きな影響を受け、現在も脅威が完全に消えたわけではなく、シルバー事業においても会員数や契約額が減少するなどの影響が出ています。

このような厳しい状況の中、仲善広域シルバー人材センターでは、新たな就業拡大と減少傾向にある会員確保など強化し、独自に地域性を生かした「後期5か年計画」に沿ってシルバー事業に取り組みました。

その結果、契約額は令和5年度実績を下回りましたが、安全就業指針など就業環境の見直しと適正就業、事務改善を中心とした組織改革を進めて一応の成果を得ることができました。

一方、会員の技能向上のための清掃講習会や、交通マナー向上のための交通安全講習会など、生活に密着した講習会の開催をはじめ、「女性のつどい」による女性会員のための催しを開催し、シルバー事業の基本理念である「自主・自立、共働・共助」の精神のもと、地域の高齢者が長年培った知識・経験・技能を地域で生かし、「地域のお役立て」を掲げたシルバー人材センターの構築に努めてまいりました。

令和6年度の実績を見ますと、全国的な会員数の大幅な減少傾向の中、年度末会員数は918人で、前年と比べ21人の減少となりました。

受注件数、契約金額の対前年度比は、受託・派遣と合わせまして共に減少しました。

また、会員数の維持・女性会員確保のため、会員獲得チャレンジ事業として、友達紹介キャンペーン、入会金免除キャンペーン、再入会キャンペーンなど会員増強のために色々な方策を実施しました。

入会説明会は、地区センターごとに毎月おこない、計36回開催しました。

今年度の「女性のつどい」は、香川県在住の映画監督である梅木佳子さんの映画上映や、もみじの会の会員がリフォーム作品の展示即売会を開催し、知人・友人に声をかけた一般の住民を併せて62名の方々の参加をいただきました。

スマホでの普及啓発に努め、会員や地域住民へのアンケート調査を基に、地域ニーズを掌握してシルバー事業運営に反映させました。

以下、主な事業活動について報告いたします。

I シルバー人材センター事業

1 請負・委任による就業機会の提供

高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図ると共に、活力ある社会づくりに寄与するため、臨時的短期的な仕事の就業機会を提供すると共に、多くの会員に就業機会が得られるよう努めました。

2 職業紹介事業

臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務を希望する高齢者に職業紹介をすることにより社会参加の喜びや、生きがい対策を図れる機関としての役割を果たすため、引き続き職業斡旋事業に取り組みました。

3 労働者派遣事業

香川県シルバー人材センター連合会仲善広域事務所として、派遣労働を希望する会員を対象に、労働者派遣による就業機会の提供に努めました。

4 女性会員の更なる拡大、80歳を超えても活躍できる就業機会の創出に向けた活動

シルバー事業にふさわしい資格の要らない新規就業の開拓や、家事援助などの就業先の確保に努め、人材育成・確保に努めました。

特に、会員の高齢化が進展する中で、従来の就業がつかなくなってきた会員でも働ける仕事の確保に努め、80歳を超えても働ける環境の創出の活動を行いました。

また、高齢者の資質向上のための技能、技術、知識の取得や、サービスの向上を図るため広い分野での仕事の確保と提供を目的として、各種技能講習会を開催しました。

講習会の開催

・家庭でも役立つ清掃講習会	延36人	・交通安全講習会	18人
・高齢者向け料理講習会	21人	・交通安全啓発講義	26人
・自動車運転技能講習会	52人	・造園(植栽・剪定)講習会	延39人
・刈払機取扱い講習会	13人	・ガーデニング講習会	延24人

5 シルバー事業のデジタル化の推進

業務運営の効率化による経営基盤の強化をはかるため、シルバー事業のデジタル化を推進しました。

フリーランス新法の施行に伴い、会員への就業条件明示をスマートフォンを活用したシルバーシステム「Smile to Smile」への登録促進を図りました。

6 普及啓発活動

シルバー事業の理念を周知し信頼を得られるよう、行政機関の広報紙・行政放送（オフトーク通信）、LINEのお友達登録の推進など、会員向け、住民向け双方への普及啓発に努めました。

今年度、連合会助成金により作成したイベント用パーティーションをあらゆる行事で活用しシルバー事業のPRに努めました。

- (1) 会議の開催 ・シルバー事業推進委員会 開催回数 3 回
 ・女性会員活動委員会役員会 開催回数 3 回
- (2) 会報の発行 ・発行回数 2 回
- (3) 行政放送 ・まんのう町においてオフトーク通信 実施回数 6 回
- (4) 広告掲載 ・琴平町役場の窓口に広告を掲載した封筒の設置
 ・イベント用パーテーションの作成・設置

7 安全・適正就業の推進

会員の就業中または就業途上における事故防止のため、安全パトロール指導員、安全・適正就業委員による安全就業パトロールを実施しました。

安全意識の向上を図るため、交通安全講習会の実施や、賠償・傷害事故当事者への安全講習会の参加要請など再発防止に努めました。

- (1) 会議の開催 ・安全・適正就業委員会 開催回数 2 回
- (2) 講習会の開催 ・交通安全講習会 参加者 18 名
 ・交通安全啓発講義 参加者 26 名

8 調査研究

会員や地域住民へのアンケート調査を実施し、シルバーに対する意見・要望・苦情を知ると共に、会員から事務局に対して一層改善の要望や指摘を伺い今後の事業運営に反映させ、地域から信頼されるセンターを目指すため調査を実施しました。

9 相談・情報提供

入会を希望する高齢者を対象に、入会説明会を各地区センターで毎月開催し、所属地区に関係なく参加できることで就業等に係る相談や情報提供の機会を増やしました。

- ・入会説明会の開催 開催回数 36 回、入会者数 90 名
- ・顧問弁護士による法律相談、心配ごと相談 相談件数 6 件

10 社会参加活動の推進

高齢者の社会参加活動を促進し、高齢者の生きがいの充実、健康保持増進としてのセンターの取り組みは、「SDGs」と深くつながります。

事務所、センター業務での地球環境保護の取組に加え、「かがわ地方創生SDGs」登録を通じて、地域の公園や公共施設の清掃活動や資源リユース処理を実践して、地域に活動を発信しました。

- ・清掃奉仕活動
- ・善通寺地区センター 参加者 21 名
- ・まんのう地区センター 参加者 12 名
- ・琴平地区センター 参加者 13 名

11 その他の事業

高齢者を対象にしたシルバー交流サロン「仲善広場」を実施し、地域住民とのふれあいを深めシルバー事業の拡大に努めました。

- ・「仲善広場」の実施 開催回数 17 回 利用者 延 223 名

Ⅱ 法人管理事業

1 会員の状況

令和7年3月末現在の会員数は、男性564名、女性354名、合計918名となっています。地区別では善通寺地区478名、まんのう地区307名、琴平地区133名であります。

2 公益法人制度の対応

公益法人運営は、関係機関の指導、助言のもと、健全な財政運営を図り、適切な財産管理をおこないました。

3 定時総会等の開催

- | | | |
|------|----------------|--------|
| ・会議名 | 定時総会 | 開催回数1回 |
| ・会議名 | 理事・監事合同役員会 | 開催回数7回 |
| ・会議名 | 理事・監事合同役員会（書面） | 開催回数1回 |